

I 男女平等に関する意識について、お尋ねします。

問1 次のような分野において、現在、男女は平等だと思いますか。
(①から⑧までそれぞれ1つずつに○印)

経年比較

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
②学校教育の場	1	2	3	4	5	6
③職場	1	2	3	4	5	6
④地域活動・社会活動の場	1	2	3	4	5	6
⑤法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑥政治の場	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体	1	2	3	4	5	6

※問1の「⑧社会全体」において「1. 男性の方が非常に優遇されている」、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方にお聞きします。

問2 その主な理由を、次の中から選んでください。(3つまで○印)

経年比較

1. 男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから
2. 男性が仕事優先、企業中心の考え方が根強いから
3. 男女の差別を人権の問題としてとらえる意識がうすいから
4. 男女の平等について、男性の問題意識がうすいから
5. 男女の平等について、女性の問題意識がうすいから
6. 女性が能力を発揮できる環境や機会が充分ではないから
7. 能力を発揮している女性を、適正に評価する仕組みが欠けているから
8. 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っているから
9. 育児、介護などを男女がともに担うための制度やサービスなどが整備されていないから
10. その他（ ）

問● あなたは、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには何が重要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○印)

追加提案

1. 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
2. 女性の取り巻くさまざまな偏見や社会通念、習慣、しきたりなどを改める
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
5. 行政や企業など重要な役職に女性を積極的に登用する制度の採用・充実を図る
6. 学校教育や社会教育、生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力について学習する
7. その他（具体的に： ）

Ⅱ 家庭生活・結婚・家庭観についてお尋ねします。

問3 次にあげる事柄について、どう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(①から⑨までそれぞれ1つずつに○印)

	経年比較				
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
①男性は外で働き、女性は家庭をまもるべきである	1	2	3	4	5
②女性が仕事を持つのはよいが、家事・育児も女性がすべきである	1	2	3	4	5
③子育ては主に母親の役割である	1	2	3	4	5
④結婚は個人の自由であり、結婚してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
⑤結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑥夫婦間の愛情がなくなれば、離婚もやむを得ない	1	2	3	4	5
⑦親の介護は、息子よりも娘か息子の妻がする方がよい	1	2	3	4	5
⑧生活に困らないだけの収入があれば、それ以上の収入や昇進よりも私生活を充実させたい	1	2	3	4	5
⑨自分の娘や身近な女性が科学者や技師、医師など専門性が高い職業を目指すことには、抵抗感がある	1	2	3	4	5

問4 あなたのご家庭での男女の役割について、「現状」と「理想」をお答えください。
(①から⑩まで、それぞれ1つずつに○印)

	現 状						理 想					
	すべて女性が担当	主に女性が担当し、男性は手伝う程度	男女同じ程度	主に男性が担当し、女性は手伝う程度	すべて男性が担当	該当する選択肢がない・該当する人がいない	すべて女性が担当	主に女性が担当し、男性は手伝う程度	男女同じ程度	主に男性が担当し、女性は手伝う程度	すべて男性が担当	わからない
①食事の支度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
②掃除	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③洗濯	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
④ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑤買物（食料品等）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの世話	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦子どもの学校行事などへの参加	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧家族の介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑨家計の管理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑩地域活動（自治会、PTA等）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

削除検討

計画策定時に使いにくい
ため。
また、調査票の
スペースをとる
から。

問5 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域での活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで○印)

1. 日々の労働時間の短縮
2. 休暇を取りやすい環境の整備や休暇制度の充実
3. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
4. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
5. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
6. 夫婦や家族、周囲の人の理解
7. 男女の役割分担についての社会通念、慣習などを改める
8. 子どもの頃からの家庭や学校での教育
9. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護などについて、その評価を高めること
10. 男性が子育て、介護、地域での活動を行うための仲間、ネットワークづくり
11. その他（具体的に)

問5 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域での活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○印)

カテゴリ追加案

1. 日々の労働時間の短縮
2. 休暇を取りやすい環境の整備や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
3. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
4. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
5. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
6. 夫婦や家族、周囲の人の理解
7. 男女の役割分担についての社会通念、慣習などを改める
8. 子どもの頃からの家庭や学校での教育
9. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護などについて、その評価を高めること
10. 男性が子育て、介護、地域での活動を行うための仲間、ネットワークづくり
11. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
12. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
13. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
14. その他（具体的に)

Ⅲ 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、お尋ねします。

問6 あなたの希望に最も近いものはどれですか。（1つに○印）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

問7 あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（1つに○印）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問8 それぞれの家庭において、男女が共に「仕事と家庭を両立」するためには、どのような条件の整備が必要だと思いますか。（3つまで○印）

1. 年間労働時間を短縮することや、休暇の取りやすい職場環境づくり
2. 柔軟な勤務形態の導入（フレックスタイム制度、在宅勤務など）
3. 代替要員の確保など、育児や介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり
4. 出産や介護等で退職した場合の再雇用制度の導入
5. パートタイマーなどの労働条件の改善
6. 所得税の配偶者特別控除など税制の見直し
7. 男女間の賃金格差をなくす
8. 育児・介護休業中の賃金、その他の経済的給付の充実
9. 保育や介護の施設・サービスの拡充
10. 企業経営者の意識改革
11. 働き続けることに対する家族や周囲の理解と協力
12. その他（)

Ⅳ 女性の働き方について、お尋ねします。

問9 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。(1つに○印)

経年比較

1. 結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続ける方がよい
2. 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
5. 女性は職業を持たない方がよい
6. その他(具体的に

)

問10 現在、仕事についていますか。(1つに○印)

1. 仕事についている
2. 仕事についていない



※問11、問12は、問10で「1. 仕事についている」と答えた方のみにお聞きします。

問11 あなたの職場では男女の格差があると思いますか。(1つに○印)

経年比較

1. あると思う
2. そうは思わない
3. わからない

問12 あなたの職場の状況にあてはまるものをお答えください。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 採用条件が女性に不利
2. 女性は男性より賃金が低い、昇進が遅い
3. 能力評価が男女平等ではない
4. 女性は管理職に登用されにくい
5. 配置転換に性別による差がある
6. 能力がある女性でも、男性より就きにくい職種がある
7. 補助的な仕事や雑用が女性に偏っている
8. 結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい
9. 男性の方が育児休暇や介護休暇を取りにくい
10. 男性の方が残業が多い
11. 人員削減する場合、男性より女性の方が解雇されやすい
12. 特にない

問13 女性が働き続けるには、どのような社会支援が必要とお考えですか。

(2つまで○印)

1. 男性の家事・育児への参加促進
2. 残業を減らすなど、男性も含めた働き方の見直し
3. 育児や介護休業制度の充実、利用しやすくすること
4. 再雇用制度の充実
5. 労働時間の短縮やフレックスタイム、在宅勤務など多様な働き方ができる制度の普及
6. 企業の採用条件（年齢制限緩和など）の見直し
7. 賃金・昇給・昇進・昇格等の男女間の格差解消
8. 再就職や能力開発のための研修の充実
9. 職場での男女の格差に関する相談窓口の充実
10. 保育所や学童保育など子育て支援の充実
11. 家事・育児サービスの充実（ベビーシッター・託児所など）
12. 高齢者・障害者福祉制度や施設の充実
13. パートタイマー、派遣労働者等の労働条件の改善
14. 所得税の配偶者特別控除など税制の見直し
15. その他（具体的に

V 地域活動・社会活動について、お尋ねします。

問14 あなたは、地域活動・社会活動することについてどう思いますか。（1つに○印）

- | | | |
|--------------|----------------|------|
| 1. ぜひ活動したい | 2. 機会があれば活動したい | 経年比較 |
| 3. どちらともいえない | 4. 関心がない | |

問15 現在、あなたが参加している社会活動は何ですか。（あてはまるもの全てに○印）

1. まちづくりのための活動
2. スポーツ少年団や子ども会など、子どもを対象とした活動
3. 老人会など高齢者を対象とした活動
4. 健康や医療に関する活動
5. 自然や環境を守るための活動
6. 防災に関係する活動
7. 安全な生活のための活動
8. 国際協力に関する活動
9. スポーツや文化、芸術、学術に関する活動
10. PTAなど学校関係の活動
11. 自治会・町内会等の地域自治活動
12. ボランティア活動（具体的に
13. 自治体の議員や審議会委員等への就任
14. その他（具体的に
15. 参加しているものはない

問16 社会活動への参加の支障となること、又は参加をしない理由は何ですか。
(2つまで○印)

経年比較

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 参加したい活動がない | 2. 仕事が忙しい |
| 3. 経済的な余裕がない | 4. 一緒に活動する仲間がいない |
| 5. 活動団体に関する情報がない | 6. 家事、育児、介護が忙しいから |
| 7. 子どもを預けるところがない | 8. 配偶者や家族の理解が得られない |
| 9. 健康に自信がない | 10. 関心がない |
| 11. その他（具体的に | ） |

問17 女性の社会進出は進みつつありますが、町内会や自治会の長、審議会委員や議員等には、まだ女性が就くことが少ないのが現状です。このように、企画や方針決定過程への女性の参画が少ない理由は何だと思いませんか。(3つまで○印)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 男性優位の組織運営 |
| 2. 家族の支援・協力が得られない |
| 3. 女性の能力開発の機会が不十分 |
| 4. 女性の活動を支援する人的ネットワーク不足 |
| 5. 家庭・職場・地域における性別役割分担や性差別の意識 |
| 6. 女性の側の積極性が十分でない |
| 7. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない |
| 8. 制度や税制などの社会のしくみが女性に不利にできている |
| 9. その他（ |

削除検討

問30とリンクして回答するのではない。

Ⅵ 介護について、お尋ねします。

問18 一般的には、高齢者の介護をしている人の大半が女性とされていますが、このことについて、あなたはどのように思いますか。(1つに○印)

経年比較

- | |
|--------------------------|
| 1. 主に女性が介護することはやむを得ない |
| 2. 男性も女性も、ともに介護をすべきだ |
| 3. 男女に関わらず、子が親の介護をすべきである |
| 4. その他（具体的に |

）

Ⅶ 人権について、お尋ねします。

問19 次のうち、女性（または男性）の人権が尊重されていないと思うものを選んでください。（あてはまるもの全てに○印）

經年比較

1. 「男は仕事、女は家庭」といわれる固定的な役割分担
2. 職場における賃金格差や昇格の差など
3. 政策決定の場へ参加する機会が少ないこと
4. 職場におけるセクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせのこと、セクハラともいう）
5. 女性を商品化した経済活動のあり方（ヌード写真、風俗営業など）
6. 夫婦間の暴力やパートナーからの暴力
7. ストーカー行為（つきまとい行為）
8. 女性の容姿に価値をおく社会のあり方（ミス・コンテスト、マスコミの報道など）
9. 地域活動などにおける肩書きは男性、実務は女性というあり方
10. 婚姻・戸籍など民法上の制度
11. その他（ ）

問20 セクシュアル・ハラスメントについて、自分が経験したり、そのような話を聞いたことがありますか。(1つに○印)

經年比較

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自分が直接経験したことがある | 2. 自分のまわりに経験した人がいる |
| 3. 一般的な知識として知っている | 4. 言葉を聞いたことがある |
| 5. 聞いたことがない | |

問21 あなたはこれまでに、あなたの夫や妻、恋人などから次のようなことをされたこと、あるいはしたことがありますか。次の①～⑧についてお答えください。
(①から⑧までそれぞれ1つに○印)

	されたことがある	したことがある	経験はない
①大声で怒鳴る	1	2	3
②交友関係や携帯電話を、必要以上に細かく監視したり制限したりする	1	2	3
③殴るそぶりや物を投げつけるふりをして、脅す	1	2	3
④なぐったり、蹴ったり、突き飛ばしたりする	1	2	3
⑤人前でバカにする、ののしる	1	2	3
⑥子どもやあなたの家族に危害を加えると言っておどす	1	2	3
⑦いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑧生活費を渡さない	1	2	3

問● あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。
(あてはまるもの全てに○印)

追加提案

1. 警察
2. 配偶者暴力相談支援センター（女性相談センター）
3. 男女共同参画・女性の活躍支援センター
4. ぎふ性暴力被害者支援センター
5. 人権センターなどの県の機関
6. 市役所
7. 女性相談員
8. 民生児童委員
9. 人権擁護委員
10. 民間支援団体
11. 医師その他医療関係者
12. 教員その他学校関係者
13. その他（具体的に： ）
14. 相談窓口として知っているところはない

問22 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。
(あてはまるもの全てに○印)

1. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
2. 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で、暴力を防止するための研修会やイベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を整備する
6. 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる
9. その他（ ）

VIII 性的マイノリティについて、お尋ねします。

問23 あなたは、性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。
(1つに○印)

1. はい 2. いいえ

問24 あなたは、今までに自分の性別に悩んだことはありますか。(1つに○印)

1. はい 2. いいえ

問25 あなたは、性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策について、必要だと思いますか。（1つに○印）

削除検討

下記の「変更案」2つに変更してみてもいい？

1. 必要だと思う
2. 必要ないと思う
3. わからない
4. その他（

）

問● あなたは、現在性的少数者（同性愛者、両性愛者やトランスジェンダーなど）がどのような問題に直面していると思いますか。（あてはまるものを全てに○印）

1. 就職・職場で不利な扱いを受ける
2. 経済的に自立していくことが困難
3. 病院や福祉施設等での看護や介護における処遇が不適切
4. 必要とする医療へのアクセスが困難
5. 住宅を容易に借りることができない場合がある
6. スポーツ・文化活動や地域活動の参加に支障がある
7. セクシュアリティを明かせないことで精神的負担を被る
8. テレビやインターネットの中で笑いの素材とされる
9. 学校や職場でいじめに遭う可能性がある
10. じろじろ見られたり、避けられたり、差別的な言葉を投げかけられたりする
11. 交流や交際など日常生活における不利な扱いを受ける
12. 戸籍上の性別変更のための条件が厳しい
13. 異性との交際や結婚を強いられる
14. 同性婚が認められていないため、医療や相続、子どもの親権、ビザ等の面で不利益が生じる
15. 学校や職場の規則・環境設備等により、自認する性別とは異なる振る舞いを強いられる
16. その他（具体的に
17. わからない

変更案1

問● あなたは、性的少数者の方たちが暮らしやすい社会にするためには、どのような意識啓発や支援が必要だと思いますか。（あてはまるものを全てに○印）

1. 相談できる窓口の設置
2. 気持ちや情報を共有できる居場所づくり
3. いじめや差別を禁止する法律や条例の制定
4. 行政職員や教職員に対する研修の実施
5. 企業等に対する啓発活動の実施
6. 地域住民に対する啓発活動の実施
7. 幼少期からの教育の充実
8. 同性婚の承認
9. 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書等の発行
10. 同性同士のパートナーやその家族も、法律上の配偶者や家族と同等に扱うこと
11. 更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する配慮
12. 戸籍上の性別変更の要件緩和
13. その他（具体的に：

変更案2

）

14. 必要だとは思わない

15. わからない

用語解説 『性的マイノリティ（LGBT）とは？』

同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、または性同一性をいいます。最近では、L（レズビアン、女性の同性愛者）、B（バイセクシュアル、両性愛者）、T（トランスジェンダー、法的・社会的性別とは異なる性別で生きる人、生きたいと望む人）の法的・社会的性別とは異なる性別で生きる人、生きたいと望む人、「LGBT」とも呼ばれています。

削除検討

知っていますか？という設問に対して「今知った」人が出てくるから

Ⅸ 防災の分野について、お尋ねします。

問26 災害時等の対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。（1つに○印）

1. 必要がある
2. どちらかといえば必要がある
3. どちらかといえば必要ない
4. 必要ない
5. わからない（具体的に

削除検討

必要あると回答するのがほとんどだと思うので、聞く設問を1つにまとめてみては？

※問26で「1. 必要がある」、「2. どちらかといえば必要がある」と回答した方にお尋ねします。

問27 性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。（3つまで○印）

1. 避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干場等）
2. 避難所運営の管理責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
3. 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）
4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握や災害時に支給する際の配慮
5. 被災者に対する相談体制
6. 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること
7. 災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること
8. その他（具体的に

問27 災害時等において、性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。(3つまで○印)

設問文変更案

- 設問文変更案

 1. 避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干場等）
 2. 避難所運営の管理責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
 3. 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）
 4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握や災害時に支給する際の配慮
 5. 被災者に対する相談体制
 6. 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること
 7. 災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること
 8. その他（具体的に

X 男女共同参画社会に関する施策について、お尋ねします。

問28 男女共同参画社会の実現に向け、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（3つまで○印）

1. 男女平等を進めるための条例・制度などの制定や見直し
2. 審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用
3. 男女平等を進めるための慣習などの見直し
4. 男女共同参画についての情報提供、意識啓発
5. 学校教育や生涯教育の場における、男女の平等と相互理解や協力についての学習
6. 各種団体や地域で活躍する女性人材の育成
7. 女性の就業・再就業の支援、働く女性への支援
8. 職場での男女平等な取扱いの啓発・徹底
9. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
10. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直し
11. 低収入等による生活困難な人々への支援の充実
12. 子育てや介護等の施設・サービスの充実
13. 高齢者の経済的自立や社会参加の支援
14. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場の提供
15. その他（具体的に _____ ）

問28 男女共同参画社会の実現に向け、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(3つまで○印)

カテゴリ追加案

1. 男女平等を進めるための条例・制度などの制定や見直し
2. 審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用
3. 男女平等を進めるための慣習などの見直し
4. 男女共同参画についての情報提供、意識啓発
5. 学校教育や生涯教育の場における、男女の平等と相互理解や協力についての学習
6. 各種団体や地域で活躍する女性人材の育成
7. 女性の就業・再就業の支援、働く女性への支援
8. 職場での男女平等な取扱いの啓発・徹底
9. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
10. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直し
11. 低収入等による生活困難な人々への支援の充実
12. 子育てや介護等の施設・サービスの充実
13. 高齢者の経済的自立や社会参加の支援
14. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場の提供
15. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
16. 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
17. その他（具体的に

用語解説 『ワーク・ライフ・バランス』とは？

ワーク・ライフ・バランスとは、人それぞれの希望に応じてや親の介護、地域活動等の「仕事以外の生活」の調和を指します。望ましいバランスは人によっても違いますし、高年期といった人生のステージによっても変化します。

削除検討

知っていますか？
という設問に対して「今知った」人が出てくるから

査言中

問29 ワーク・ライフ・バランスについて、どの程度ご存じですか。(1つに○印)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが内容までは知らない
3. まったく知らない

追加の要望あり

問30 身の回り・地域・しきたりなどで、特に男女の不平等（差別）を感じるところを具体的に教えてください。

削除検討

問17とリンクして回答するのではないか。
また、FAが2つも不要ではないか。

最後になりましたが、男女共同参画社会の実現などについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご自由に記入してください。

質問は以上です。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和 年 月 日（ ）までに投函してください。なお、切手を貼る必要はありません。

■調査に関する問合せ

瑞浪市役所 まちづくり推進部 生活安全課 人権啓発係

☎ 68-9748（直通） FAX 68-2240

